opusdei.org

属人区長のメッセー ジ(2023年クリスマ ス)

属人区長は戦争や貧しさに苦しむ人々に寄り添いながら降 誕節を生きるよう招きます。

2023/12/15

愛する皆さんへ。イエスが私の子ど もたちを守ってくださいますよう に!

ご降誕の祝いの日々、イエスゆかり の地や、世界の他の地域を揺るがす 紛争に、心を留め続けることは当然 のことです。私たちは皆、同じ御父 の子です。ですから、世界各地で起 きる出来事は、私たちにとってとて も身近な出来事、私たち自身に関わ る出来事です。「一つの部分が苦し めば、すべての部分が共に苦しし (1コリント12・26)みます。寛大に 祈りと犠牲を捧げるよう努めましょ う。「愛によって行われるわたした ちのどんなささいな行為も、すべて の人の益となります」(カトリック 教会のカテキズム、953番)。同時 に、世界平和への憂慮が、私たちを 具体的な決心へと導き、私たちが、 家庭や職場などの身近な環境におい て平和をもたらすべく、自分に出来 ることをするよう、主の恵みを願い ましょう。

「平和、真理、一致、正義と言いますが、人間の共存を妨げる障害を乗り越えることは、時になんと難しく 思われることでしょう。しかし、キ

リスト信者は、〈兄弟愛という大き な奇跡〉を行うよう召されていま す」(『知識の香』157番)。イエ スの誕生を観想することは、私たち と他者を隔てる障害を取り除き、私 たちを結びつけるものに目を向ける ための特別な機会となり得ます。他 者との違いが、私たちの対人関係に おける〈最後の言葉〉とならないよ う気をつけましょう。すべての人の ために生まれてきた乳飲み子の飼い 葉桶に眼差しを向けるなら、ゆるす ため、またゆるしを請い、理解し、 愛するために必要な力を見出すこと ができるでしょう。

またベツレヘムの馬小屋は、私たちに清貧について語ります。生まれてきたイエスの周りには、ほとんど何もありませんでしたが、そこはマリア、ヨセフ、そして羊飼いたちの愛が満ちていました。教皇フランシスコが指摘したように、「彼らはみな貧しく、富や大きな可能性によって

ではなく、愛情と感嘆によって結ば れていました。それゆえ、質素な飼 い葉桶は、人生の真の豊かさ、すな わち、お金や権力ではなく、人間関 係や人々に光を当てます | (説教、 2022年12月24日)。キリストは、こ の時期に私たちができる最高の贈り 物は、物質的なものではなく、祈り と愛情であることを示しています。 人間的な親しみをもって、具体的な 援助の行為一つひとつに神への願い を添えて、この愛情が最も困窮して いる人々にまで拡がり届くように努 めましょう。そうすれば、たとえ私 たちが物質的な貧しさを解決できな くても、より多くの人々が愛されて いるという豊かさを経験することが できるでしょう。

聖母マリアは、御子の生涯のすべて を落ち着きと愛をもって受け入れま した。この聖母は、私たちの心にイ エスがお生まれになることによる平 和と喜びを、私たちが見出すことが できるよう助けてくだるでしょう。

心と愛情を込めて、お祝いを申し上 げ、皆さんを祝福します。

皆さんのパドレ

フェルナンド

ローマ、2023年12月15日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchou-

messeeji-2023kurisumasu/ (2025/12/11)